

# 夜間総合観光

学年	科目名
1	選択科目Ⅰ〔昼間部の指定科目〕
1	選択科目Ⅱ〔昼間部の指定科目〕
1	観光地理
1	ビジネスマナー（検定対策）
1	TOEIC/英検対策Ⅰ
1	TOEIC/英検対策Ⅱ
1	筆記試験対策
1	コンピュータ
1	観光業界研究
1	就職対策（LHR）
2	選択科目Ⅲ〔昼間部の指定科目〕
2	観光地理
2	第2外国語（韓国語）
2	観光マーケティング
2	サービス接遇検定
2	コンピュータ
2	英会話
2	筆記試験対策
2	就職対策（LHR）

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・プライダル科/3年グローバルコース・夜間総合観光科選択	
科目名	ホテル総論			クラス	EY選択	
担当講師(フルネーム)	小西 翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホテル全体の基礎知識を学び、ホテル産業への理解を深める。			授業形態	講義	
到達目標	ホテル業の基礎知識や今後の展望を学び、企業実習や就職活動等に役立てる。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション 「ホテル」とは①	・前期の学習内容や評価方法について説明 ・ホテルの役割 ・宿泊部の職種と仕事				
2回	「ホテル」とは②	料飲部の職種と仕事				
3回	「ホテル」とは③	ホテル内のその他の職種と仕事				
4回	ホテルの種類 様々な経営・運営方法	様々なホテルの種類とその名称 ホテルはどのように運営されているのか ホテルの商品の特性				
5回	日本を代表する 歴史あるホテル①	日本が誇る『ホテル御三家』				
6回	日本を代表する 歴史あるホテル② 観光立国	日本が誇る『ホテル御三家』 日本が目指す「観光立国」とは…				
7回	旅館業法 客室の名前、眺望の名前 ホテルの魅力	ホテルに関わる法律 客室や、そこから見える眺望について 「朝食が美味しいホテルランキング」				
8回	ホテルに関わる偉人 専門用語①	昨今のホテルの基礎を築き上げた、伝説のホテルエタたち ホテルで働く上で知っておきたい専門用語を学ぶ				
9回	専門用語②	ホテルで働く上で知っておきたい専門用語				
10回	専門用語③	ホテルで働く上で知っておきたい専門用語				
11回	専門用語④	ホテルで働く上で知っておきたい専門用語				
12回	宿泊約款 レピュテーションマネジメント	宿泊約款とは… 「レピュテーションマネジメント」とは…〇〇〇を管理すること！				
13回	ホテルの安全	日本のホテル史上最悪の人災から学ぶ				
14回	前期まとめ	前期の学習内容についてのまとめ、振り返り				
15回	期末試験	前期期末試験を実施				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル科・夜間総合観光科選択	
科目名	レストランバンケットサービス			クラス	E・E3・Y	
担当講師(フルネーム)	麻生 亮			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	レストランにおけるサービスの基本動作、知識を学ぶ HRS試験を意識した講義と実践を行う			授業形態	講義&演習	
到達目標	企業実習にむけて料飲サービスの基礎を身に付ける					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的と進め方・ノートの取り方 挨拶(意味・立礼・座例)立ち方・座り方・離着席の補助(実技) 歩き方(速度)・入店からゲスト・ホストを考慮した行動(実技)				
2回	料飲部門の概要	ホテルの分類 料飲部門と宴会部門(種類と内容)のサービスの違い シルバーウェアの基礎知識の習得と使用方法を学ぶ(実技)				
3回	レストランの概要	営業前・営業中・営業後 お皿の2枚・3枚持ちを学び持てる様になる(実技)				
4回	レストランサービス	溢さない水・ワインの注ぎ方を考え出来る様になる(実技) グラスの名称と用途を学ぶ 6つの基礎食品・食品の分類別特徴を学ぶ				
5回	レストランサービス	トレイの使用方法を学び実践で活用できるようになる(実技) 実技の振り返りと課題の抽出と克服 西洋料理に使用される主な食材:前菜～スープ(フランス語)				
6回	レストランサービス	水を注ぎ足さないタイミングを考え実践できるようになる(実技) テーブルナフキンの折り方を学ぶ 西洋料理に使用される主な食材:魚～肉(フランス語)				
7回	レストランサービス	ゲスト・ホストを考慮した料理提供とサービス雑音軽減を意識したパッシング(片づけ)(実技) 西洋料理に使用される主な食材:野菜(フランス語)				
8回	ドリンク	コーヒーについて学ぶ チューリンサービス(実技) 西洋料理に使用される主な食材:パスタ(イタリア語)・チーズ				
9回	ドリンク	紅茶について学ぶ 西洋料理に使用される主な調理方法を学ぶ				
10回	レストランサービス	トレイの使用方法(パッシング)(実技)				
11回	メニュー	歴史・諸規則・料理名・分類別構成 磁器と陶器の違い・ガラス容器				
12回	宴会サービス	宴会の種類と内容 宴会サービス				
13回	期末試験課題発表	ノートの整理と共有				
14回	期末試験	筆記試験(行動を言葉で表す)				
15回	前期まとめ	前期のおさらい 後期の学習内容				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科/夜間総合観光科選択
科目名	航空業界研究			クラス	QY選択
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	航空業界の知識(航空輸送の歴史、航空機、空港、等)について講義 航空会社の戦略と実践(航空会社の特徴)について講義			授業形態	講義
到達目標	航空業界では、どのような業務が行われているかを理解し就職活動に役立つ知識を習得する。				
使用テキスト	エアライン・マネジメント(戦略と実践)・プリント				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数 2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 授業の進め方、成績評価方法について説明する 航空業界に対するイメージについて意見交換を行う			
2回	航空輸送の歴史	航空機の発達と歴史(ライト兄弟から旅客機のハイテク化まで)について学ぶ 国際民間航空機関(ICAO)と国際航空運送協会(IATA)について学ぶ 航空自由化(オープンスカイ政策)の流れについて学ぶ			
3回	航空事業の今	「航空事業とは何か」について学ぶ 航空事業の果たす役割について学ぶ 航空事業の特性について学ぶ			
4回	航空事業の規制緩和	国内線の参入規制緩和について学ぶ 国際線に関する外国との間の規制緩和について学ぶ 日本における航空会社の新規参入について学ぶ			
5回	空港	日本の空港の現状と課題について学ぶ 空港の分類(拠点空港・地方管理空港・共用空港・その他の空港)について学ぶ 空港の機能、施設について学ぶ			
6回	空港整備と民営化	日本の空港整備の推移について学ぶ 首都圏および各空港の整備の歴史について学ぶ 空港民営化について学ぶ			
7回	航空会社	大手航空会社と関連会社について学ぶ 中堅航空会社と格安航空会社について学ぶ 航空会社の関連事業について学ぶ			
8回	航空会社の経営計画	航空会社の経営計画の特質について学ぶ 航空会社のブランド戦略について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
9回	ネットワーク戦略	路線ネットワークの構築について学ぶ 路線便数計画の策定について学ぶ 機材計画について学ぶ			
10回	アライアンス戦略	アライアンス(国際提携)とは、について学ぶ 提携の歴史と変遷について学ぶ グローバルアライアンスのメリットと非加盟航空会社の動向について学ぶ			
11回	マーケティング戦略	顧客満足と顧客体験について学ぶ マーケティングと商品・販売戦略について学ぶ マーケットセグメンテーションについて学ぶ			
12回	LCCのビジネス	LCCビジネスの特性について学ぶ LCCの台頭について学ぶ LCCの変化について学ぶ			
13回	航空保安	保安対策基準について学ぶ 機内持ち込み手荷物と受託手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
14回	期末試験	航空業界の今後の動向について学ぶ 期末試験を実施			
15回	まとめ	期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン科/夜間総合観光科選択
科目名	空港実務			クラス	Q①Y選択
担当講師(フルネーム)	原田 歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	国内空港や国内航空会社の特徴、国内線におけるお客さまの流れを学ぶ チェックイン業務、ゲート業務、アナウンス業務など実技を交えながら学ぶ			授業形態	講義
到達目標	国内線の基礎知識を習得する				
使用テキスト	JALグランドスタッフ入門				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について 航空業界について GSに求められる人材について考える			
2回	日本の空港	各空港の特徴を学ぶ 空港の3レターを覚える			
3回	日本の航空会社	各航空会社の特徴を学ぶ 航空会社の3レター・2レターを覚える			
4回	サービス	FSCとLCCについて学ぶ 良いサービスとは何か考える			
5回	GSの業務と役割①	旅客ハンドリング担当会社について学ぶ GSの業務形態を学ぶ			
6回	GSの業務と役割②	GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務 アナウンス業務			
7回	GSの業務と役割③	GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務 アナウンス業務			
8回	GSの業務と役割④	GSの業務内容を学ぶ ゲート業務 アナウンス業務			
9回	GSの業務と役割⑤	GSの業務内容を学ぶ ゲート業務 アナウンス業務			
10回	Webサイト	各社Webサイトを比較する 空席照会 各種サービス			
11回	手荷物①	受託・持込み手荷物のルールを学ぶ 手荷物タグについて学ぶ 収納ケースについて学ぶ			
12回	手荷物②	危険物について学ぶ BAGトラブルについて学ぶ			
13回	国内線運賃	各種運賃とルールを学ぶ 各社運賃を比較する 搭乗方法について学ぶ			
14回	期末試験	試験 イレギュラーについて学ぶ			
15回	まとめ	テスト返却 前期の復習			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光地理			クラス	Yクラス	
担当講師(フルネーム)	金森和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	地域ごとの国々・主な都市及び都市コードを白地図に記入 有名観光地の映像を見る			授業形態	講義	
到達目標	日本の地域・国々・主な都市・有名観光地を覚える					
使用テキスト	国内観光地理サブノート					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	九州の概要説明	九州各県の経済、特徴について説明				
2回	福岡県(観光、空港情報)	九州の中心地、福岡の経済について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
3回	佐賀県(観光、空港情報)	有田焼など焼き物文化について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
4回	長崎県(観光、空港情報)	南蛮文化、長崎の世界遺産群の説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
5回	大分県(観光、空港情報)	日本屈指の温泉地について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
6回	熊本県(観光、空港情報)	阿蘇山の観光資源について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
7回	宮崎県(観光、空港情報)	高千穂など神々の歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
8回	鹿児島県(観光、空港情報)	幕末の薩摩藩の歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
9回	沖縄県(観光、空港情報)	沖縄リゾートについて説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
10回	広島県(観光、空港情報)	世界遺産厳島神社について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
11回	兵庫県(観光、空港情報)	世界遺産姫路城について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
12回	香川県(観光、空港情報)	金毘羅さんなどの観光地説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
13回	高知県(観光、空港情報)	よさこい祭りの歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
14回	愛媛県(観光、空港情報)	道後温泉など観光地説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
15回	まとめ	まとめ 期末試験について				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ITビジネス・エアライン・鉄道・国際ビジネス・夜間総合観光
科目名	ビジネスマナー			クラス	HQNDY
担当講師(フルネーム)	田中友加利・池田香織			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得させる。				
使用テキスト	ビジネス能力検定 3級テキスト 2025年度版				
成績評価方法	・期末試験60%平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション	授業内容、成績評価方法			
2回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第1章 キャリアと仕事へのアプローチ			
3回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第2章 仕事の基本となる8つの意識			
4回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 ・身だしなみ、あいさつ、おじぎ、仕事時のマナー			
5回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談			
6回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談			
7回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第5章 話し方と聞き方のポイント ・敬語の種類と必要性			
8回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第6章 来客応対と訪問の基本マナー			
9回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第7章 会社関係でのつき合い			
10回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本			
11回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本			
12回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第3章 電話応対			
13回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第4章 統計・データの読み方・まとめ方			
14回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第5章 情報収集とメディアの活用			
15回	期末試験	期末試験 前期授業のまとめ			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・国際ビジネス・夜間総合観光科
科目名	TOEIC I			クラス	EQNDY①
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する				
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集11				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数 2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	Part1	授業の進め方、評価方法の説明 写真をチェックする 人物、風景と物、乗り物についての表現			
2回	Part2(2)	Yes/No疑問文 付加疑問文 平叙文			
3回	Part3(1)	Part3の攻略の基本を学ぶ 音のひっかけに注意する 練習問題			
4回	Part3(3)	設問を先に読む 図・イラスト問題を攻略する 選択肢を読む			
5回	Part4(2)	場所を問う問題 職業を問う問題 次の行動を問う問題			
6回	Part5(1)	Part5の攻略の基本を学ぶ 品詞問題 名詞の形と役割を理解する			
7回	Part5(3)	動詞の形と役割を理解する 時制 能動態と受動態			
8回	Part5(5)	代名詞 適切な格を判断する 可算名詞・不可算名詞			
9回	Part5(7)	Part5のまとめ 前置詞と接続詞			
10回	Part6(2)	「文挿入問題」の解き方を学ぶ 空所の前後の内容をリンクさせるキーワードに注意する 練習問題			
11回	Part7(2)	ウェブページ、用紙を読む 文脈を意識して読む 練習問題			
12回	模試	リスニング模試 Part1/Part2/Part3/Part4 答え合わせと解説			
13回	模試復習	リーディング 文法 読解			
14回	期末試験対策	語彙問題 文法問題 読解問題			
15回	IPテスト対策	リーディング対策 文法・語彙問題 読解問題			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・鉄道・国際ビジネス・夜間総合観光科	
科目名	TOEIC II			クラス	EQNDY①	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義	
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集11					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Part2(1)	Part2の攻略の基本を学ぶ WH疑問文を聞きとる キーワードをとらえる				
2回	Part2(3)	「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 音のひっかけに注意する 練習問題				
3回	Part3(2)	設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む				
4回	Part4(1)	Part4の攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞きとる お知らせや電話のメッセージを聞く				
5回	Part4(3)	アナウンス・ツアー・トーク・スピーチ Listeningのまとめ				
6回	Part5(2)	品詞問題 形容詞の形と役割を理解する 副詞の形と役割を理解する				
7回	Part5(4)	準動詞の形と役割を理解する 不定詞・動名詞の練習問題 分詞の形と用法について理解する				
8回	Part5(6)	前置詞の用法について理解する 接続詞の用法について理解する 前置詞と接続詞の練習問題				
9回	Part6(1)	Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法・語彙問題を解く				
10回	Part7(1)	Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む クーポン、メモを読む				
11回	Part7(3)	広告、テキストメッセージを読む テキストメッセージは書き手の関係を整理して読む 時間を管理する				
12回	模試	リーディング Part5/Part6/Part7 答え合わせ				
13回	IPテスト対策	リスニング対策 よくある場面と設問 頻出語彙				
14回	期末試験	Part5/Part6/Part7 単語プリント				
15回	まとめと復習	期末試験のフィードバック 文法・語彙問題 読解問題				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・フライダル、エアライン、鉄道、国際ビジネス、夜間総合観光科
科目名	英検対策 I & II			クラス	EQNDYクラス
担当講師(フルネーム)	平島千華、日高郁子、脇谷奈々、猪口明日香、加藤亜希			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる			授業形態	講義
到達目標	英検2025年度に合格できる力をつける。				
使用テキスト	2025年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	過去問題①	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
2回	過去問題①	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
3回	過去問題①	リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
4回	過去問題①	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
5回	本試験	本試験の自己採点及び解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
6回	二次試験対策	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
7回	二次試験対策	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
8回	過去問題②	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
9回	過去問題②	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
10回	過去問題②	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
11回	過去問題②	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
12回	過去問題③	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
13回	過去問題③	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
14回	期末試験対策	長文読解 英作文問題 リスニング問題			
15回	期末試験	前期授業総括 期末試験解説 前期総復習			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科 夜間総合観光科
科目名	就職筆記対策Ⅱ			クラス	N Y
担当講師(フルネーム)	北村 正雄			実務経験	無
授業概要(内容)	新型コロナ禍後テスト形式は テストセンター Web 鉄道系 ホテル 航空型企業の過去問を中心に問題が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。SPI能力適性検査試験に合格しなければ面接には進めません。キツイけど一緒に頑張りましょう。			授業形態	講義
到達目標	鉄道系 ホテル 旅行系などの企業の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力を修得することが出来ます。				
使用テキスト	SPI基本問題集 大和書房				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション・基礎事項の確認 テキストp20～42	講義指針、内容などに関する事項 各業界の採用試験形式と最近の試験傾向 SPIなどは公務員試験に採用されている数的推理・判断推理に似ています。できるだけ方程式を使わずに問題を処理する能力が要求されます。特に最近の推論という分野は、問題文を見て論理的な思考を用いてその場で解答を導きます。数学ができるからと言っても、推論が解けるとは限りません。逆に数学ができなくても推論は解けます。問題が発生したとき、その場で考えて問題を推論的に処理する能力があればそれでいいのです。数学苦手な人も自信を持ってください。			
2回	鶴亀算1連立方程式 テキスト p50～80	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? HONNDAのバイクとトヨタの車が合わせて20台あります。バイクと車のタイヤの数を数えたら64本ありました。バイクと車はそれぞれ何台ありますか? ある仕事をするのに、商品1個を仕上げると、1500円のバイト料がもらえる。商品を壊してしまつと、商品1個につきバイト料はもらえないどころか、1個につき2000円弁償しなければならない。バイトの学生が20個仕上げて、バイト料16000円をもらった。この学生は商品を何個壊しましたか			
3回	鶴亀算2 連立方程式賠償算 テキスト p50～80	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? HONNDAのバイクとトヨタの車が合わせて20台あります。バイクと車のタイヤの数を数えたら64本ありました。バイクと車はそれぞれ何台ありますか? ある仕事をするのに、商品1個を仕上げると、1500円のバイト料がもらえる。商品を壊してしまつと、商品1個につきバイト料はもらえないどころか、1個につき2000円弁償しなければならない。バイトの学生が20個仕上げて、バイト料16000円をもらった。この学生は商品を何個壊しましたか			
4回	速さ・時間・距離 1 旅人算 p86～109	この問題は旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれています。この分野もほとんどすべての試験形式で、出題されます。距離と時間と速さの関係性がポイントです。速さとかかる時間が逆比の関係にあることがキモです。実際の入社試験の過去問を解いていきましょう。有名な問題は、Aが分速60mで寮から駅に向かって信号機のない直線道路歩き始めた。その15分後、Bが分速80mで追いついた。Bは何分後寮から何mの地点でAに追いつきますか? また鉄橋通過算もあります。時速と列車と鉄橋の長さが与えられている場合、列車がこの鉄橋を通過するのに何秒かかりましたか? ポイントは時速を秒速に変換する点です。			
5回	速さ・時間・距離 2 旅人算 流水算p86～109	この問題は旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれています。 出会い算とは、寮から勤務のホテルまで、信号機なしの直線道路で、17km離れています。Aが寮から勤務先のホテルに出勤するため、午前8時に自転車で時速時速7kmで向かいました。他方勤務明けのBは寮に戻るため、バイクで、午前8時に時速21kmでホテルを出発しました。AとBは何時間分に寮から何m? ホテルから何mの地点で出会いますか? 流水算とは、川の上流A地点と、川の下流のB地点を船で往復する場合の、静水時の船の速さや、川の流れの速さを求める問題です。			
6回	食塩水の濃度1 p109～119	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあはいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。 実際、ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。①食塩水Aに、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%? ②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水Cの濃度は何%?			
7回	食塩水の濃度2 p109～119	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあはいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。 実際、ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。③食塩水Aに食塩を混ぜて、食塩水Bを作るには水、または食塩を何g加えるといですか? ④食塩水A(濃度13%重さ270g)を煮沸して出来た食塩水B(重さ190g)の濃度は? 煮沸して、蒸発するのは水だけがポイント			
8回	年齢算 テキストに無し	年齢算の正体を明らかにします。年齢算にはいろいろな解き方があります。自分の解きやすい解き方で解いて構いません。大切なことは早く、正確に正解することです。SPI非言語は小学校高学年の文章題で学習した内容が非常に多いです。 小学校で習ったから、簡単ではありませんよ。中学・高校の数学のほうが問題によっては簡単なケースがたくさんあります。 SPI非言語と数学は必ずしも同じではありません。それが数学と言わずに、SPI非言語と命名されている理由だと思えます。			
9回	比と割合 玉手箱(計数理解) テキストに無し	割合の考え方を基本に問題演習を実践します 割引・割り増しの考え方を理解できるようにまります。この理解は損益算につながっていきます。また比の問題はいろいろな形でよく出題されます。例えば、バラが全部で90本 赤バラと白バラの日が6:3の時赤バラをさらに30本増やしたとき赤バラと白バラの比率は何:何になりますか? 比の問題のポイントは比の差と比の和です。SPI・3でも頻出分野です。玉手箱は計数理解という簡単な方程式を使った問題が50問 1問平均8秒以内で時間との闘い。			
10回	確率1 Probability テキストp158～177	確率は必ず出題されます。絶対に理解しておきましょう。 確率については最大が1です。100%でも10割でもかまいません。 公式は $0 < P < 1$ Probability 試験のポイントは(少なくとも)余事象の理解です。余事象の場合、解答欄の選択肢は、必ず【1-分數】を選択することになります。とても大事なので1年後期でも学習します。 ある日のホテルの宿泊客35名。内訳は男性は21名女性14名。翌朝2人がチェックアウトしました。①チェックアウトした二人が二人とも女性だった確率は? ②二人のうち少なくとも一人が女性だった確率は?			
11回	順列1 Permutation p136～145	順列の基本的な考えは難しくありません。小学校中学校の時に理解できていない学生もたくさんいます。もう一度じっくり考えてみると必ず理解できます。 公式は、 $nPr$ $P = \text{permutation} = \text{順列}$ $n$ は全体の数字、 $r$ は $n$ 個(人)の中から取り出して並べた時の数です。公式に当てはめるだけです。絶対的に落とせません。 順列も1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。 SPI・3になってから、重複順列・円順列も出題されています。数珠順列は出題されていません			
12回	組み合わせ1 Combination テキストpp146～157	順列が理解できないと組み合わせは理解できません。順列ではABC ACB BAC BCA CAB CBAはすべて別と考えます。つまり並び方が違えば別物と考えます。組み合わせは列(並び方)ではなく、中身・内容で考えるので、ABC～CBAまで全て同じと考えます。つまり組み合わせとしては、1個です。 公式 $nCr$ $C = \text{Combination}$ 公式の意味も理解しましょう。 組み合わせも1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。			
13回	仕事算1 テキストに無し	仕事算の意味=ある人、ある機械が一日又は一時間一分間当たりどれだけの仕事をするかの問題 仕事算の基本問題・公式①一日(一時間)当たりの仕事量 = $\frac{1}{\text{かかった日数(時数分秒数)}}$ Aがホテルのある業務21日かけて完了した。Aの一日当たりの仕事量は21分の1 数学では全体を1とする場合がとても多い。この場合の(いち)はoneではなく、allの意味です。日本語としても、いち=allの意味に使われています。詳しくは講義の中で。			
14回	仕事算2 推論 暗号問題 テキストに無し	仕事算の応用問題 A一人だと27日(27時間)、B一人だと33日(33時間)、C一人では40日(40時間)かかる仕事をABCの3人ですると何日(何時間)で終わるか? ABC3人で二日間仕事をしたが、Aが途中でサボった為BC二人で残りの仕事をした場合最初から数えて何日(何時間)に完了する?など 暗号問題は公務員採用試験には出題されていますが、従来SPI・2には出題、されていませんでした。SPI・3には暗号問題があります。知能検査みたいな問題で、センスがためられます。何問かチャレンジしましょう。頭の柔らかさとセンスがためられます。			
15回	構造的把握力検査 前期学習の総まとめ テキストp280～283	新傾向の問題 鶴亀算 速さ・時間・距離 食塩水の濃度 確率 順列 組み合わせ 玉手箱の計数処理 後期学習の最重要分野の推論について			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	エアライン/夜間総合観光	
科目名	コンピュータ			クラス	QY	
担当講師(フルネーム)	財津克宜			実務経験	有(IT業界勤務歴)	
授業概要(内容)	パソコンの基本的構成やよく使うソフトウェアを知る メールやクラウドの使い方を習得しIT全般のスキルアップをはかる			授業形態	講義&演習	
到達目標	パソコンの構成を理解しメールやクラウドなどのユーティリティを正しく理解し活用できるようにする					
使用テキスト	オンラインマニュアル					
成績評価方法	・提出物・課題70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	パソコンの基本	パソコン各部の理解 (内部構成、USBアダプタや接続アダプタなど) ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、MicrosoftOffice、Googleツール演習を行う				
2回	パソコンの基本	パソコンの基本操作、エクスプローラの使い方 (初期設定、フォルダ/ファイル構造、ファイルサイズ、コピーペースト、アクセス権など) ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、MicrosoftOffice、Googleツール演習を行う				
3回	メール送受信	Eメールの仕組みと一般的な文例 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、MicrosoftOffice、Googleツール演習を行う				
4回	メール送受信	Webメールによる送受信 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、MicrosoftOffice、Googleツール演習を行う				
5回	よく使うソフトウェアの紹介	テキストエディタ さくらエディタのインストールと使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、MicrosoftOffice、Googleツール演習を行う				
6回	よく使うソフトウェアの紹介	各種システムのログインIDとパスワード ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、MicrosoftOffice、Googleツール演習を行う				
7回	よく使うソフトウェアの紹介 Google編	GoogleChromeの使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、MicrosoftOffice、Googleツール演習を行う				
8回	よく使うソフトウェアの紹介 Google編	GoogleClassroomの使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、MicrosoftOffice、Googleツール演習を行う				
9回	よく使うソフトウェアの紹介 Google編	GoogleMeetの使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、MicrosoftOffice、Googleツール演習を行う				
10回	よく使うソフトウェアの紹介 Google編	GoogleDriveや共有フォルダの使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、MicrosoftOffice、Googleツール演習を行う				
11回	よく使うソフトウェアの紹介 Google編	GoogleFormの使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、MicrosoftOffice、Googleツール演習を行う				
12回	メール送受信	Outlookによる送受信(インストールと初期設定) ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、MicrosoftOffice、Googleツール演習を行う				
13回	メール送受信	Outlookによる送受信 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、MicrosoftOffice、Googleツール演習を行う				
14回	メール送受信	スマホアプリからの送受信(インストールと初期設定) ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、MicrosoftOffice、Googleツール演習を行う				
15回	コミュニケーションツール /期末試験	仕事でよく使うその他のコミュニケーションツール ※期末試験				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光業界研究			クラス	Yクラス	
担当講師(フルネーム)	金森和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	【旅行】旅行業界の知識・販売・添乗について講義 【エアライン】航空業界の知識・空港、航空機、業種について講義			授業形態	講義	
到達目標	旅行・エアラインの基礎知識を習得する					
使用テキスト	観光学基礎 JTB総合研究所					
成績評価方法	【旅行】確認テスト実施(70%)+平常点(小テスト含む)(30%) / 【エアライン】確認テスト実施(80%)+平常点(20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	旅行①	旅行とは？旅行業の歴史、観光業界の中の旅行業 旅行業界を取り巻く環境、課題をテーマに講義				
2回	旅行②	旅行会社の概説 各旅行会社の形態と業務内容、ブランドについて知る 旅行会社の求人について				
3回	旅行③	基礎知識① <鉄道> JRとは？JR各社と路線(新幹線・在来線特急)、営業規則を確認 JR時刻表の使い方				
4回	旅行④	基礎知識② <航空> 国内線の航空会社、路線、運賃種別、営業規則を確認				
5回	旅行⑤	基礎知識③ <フェリー・バス> 日本国内のフェリー会社、路線、バスの種別を確認				
6回	旅行⑥	旅行業界の業界用語、言い回し 旅行パンフレットの見方、カウンターでのロールプレイを通して実践				
7回	旅行⑦	添乗業務/業務の流れ(準備・添乗・精算)、添乗あいさつ、案内の言い回しなどをロールプレイを通して実践				
8回	確認テスト	確認テストを実施。 授業のまとめ、振り返り				
9回	エアラインビジネス	航空業界に対するイメージの意見交換を行う 航空会社の業務とそれを取り巻く関連会社の業務について学ぶ 空港の旅客、貨物取扱能力について学ぶ				
10回	航空業界とは	航空輸送事業の歴史と近年の動向について学ぶ 航空会社の新規参入と格安航空会社(LCC)の台頭について学ぶ 航空会社グループ化の進展(アライアンス)について学ぶ				
11回	空港業務の概要	空港の種類、機能及び施設について学ぶ 航空会社及び関連会社について学ぶ 航空機の歴史、活躍中の航空機及び将来の航空機について学ぶ				
12回	航空業界の仕事	JAL・ANAグループ航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ 日本に就航している格安航空会社について学ぶ				
13回	航空業界の仕事	旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 運行管理業務、ステーション・コーディネーション業務について学ぶ 運行支援業務(グランドハンドリング業務)について学ぶ				
14回	航空業界の仕事	整備業務、ケータリング業務について学ぶ 航空貨物業務について学ぶ 航空保安対策基準について学ぶ				
15回	確認テスト	航空業界の今後の動向について学ぶ 確認テストを実施 授業のまとめ				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	就職対策			クラス	Yクラス	
担当講師(フルネーム)	金森和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職活動に向けて意識を高め、具体的な行動と準備ができるようになる。 この授業はLHRと平行して行う			授業形態	講義	
到達目標	就職活動に必要な必要事項の完成を目指す					
使用テキスト	就職ノート 専門学校生のための就職内定基本テキスト					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(授業態度 就職活動の姿勢)80% レポート・演習20%				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	就職活動の心構え	就職活動とは・学生と社会人の違い・なぜ働くのか？ 採用の基準(求められる人材・一緒に働きたい人とは)				
2回	就職活動の基本	入社試験の内容と流れ 就職活動のルール 当学科の2年間				
3回	自己分析	あなたのモットー・座右の銘は？				
4回	自己分析	キャリアプラン・ライフプラン 自身の経験をもとに自己分析を行なう 入学理由・業界や職種に興味を持ったきっかけ				
5回	自己分析	もっとも打ち込んだ事は？ 現在の生活状況やアルバイトから自身の強みを考える				
6回	自己分析	自身はクラスメイトからどのように思われている？ 前回までの授業の続き				
7回	自己PR	自己PRの作り方				
8回	自己PR	パーソナルチェック(挫折経験・ストレス解消法・趣味・特技)				
9回	質問事例	接客・サービス・おもてなしについての質問 感動のサービス・お客様に満足していただくためには				
10回	質問事例	職業観についての質問				
11回	コミュニケーションスキル	自分の意見を伝えるためには…「結論から話す」 結論から話す練習				
12回	企業研究	働きたい会社を見つけて志望動機につなげる				
13回	履歴書作成	履歴書の記入項目と書き方 文章のまとめ方・志望動機と自己PR以外の項目の書き方				
14回	履歴書作成	志望動機&自己PR完成				
15回	まとめ	履歴書完成				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル・夜間総合観光科選択 国際ホテルマネジメント
科目名	フロント・オフィス			クラス	AZ選択,T
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテル業界フロント経験者が実務経験をもとにフロントオフィス業務を解説			授業形態	講義
到達目標	基本業務知識を身につけ、ホテル全体の流れを理解する				
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊I フロントオフィス編				
成績評価方法	・試験50% 実技・提出物・平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション	授業内容、評価方法、実技について フロントオフィスの意義と役割 フロントオフィスの組織と業務			
2回	客室の種類	客室タイプ 料金システム			
3回	リザーベーション業務	予約業務の重要性 イールドマネジメント			
4回	リザーベーション業務	宿泊予約の種類 宿泊予約システム概要			
5回	リザーベーション業務	予約受付の流れ			
6回	リザーベーション業務	宿泊予約受付業務 ①電話予約の基本 ②キャンセルと変更 ③リザーベーションカード作製 ④キャンセルチャージ			
7回	リザーベーション業務	インターネット予約業務 宿泊予約におけるその他の業務			
8回	リザーベーション業務	通常予約の演習 ①			
9回	リザーベーション業務	通常予約の演習 ②			
10回	リザーベーション業務	予約変更、キャンセル演習			
11回	リザーベーション業務	予約、顧客情報更新			
12回	レセプション業務	レセプションサービス ルーム・アサインメント 接客マナー			
13回	レセプション業務	チェーンの手順 レジストレーションカード記入方法			
14回	レセプション業務	オーバーブッキングとダブルブッキングの対応方法 レイトチェンジとルームチェンジの処理方法			
15回	前期まとめ	前期項目の復習			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	フライトオペレーション			クラス	P・Z	
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空機の開発史、旅客機の区分、空港の構造、航空管制の知識、 運航管理業務、等について学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	航空機運航業務の役割、目的を理解し業務に役立つ知識を習得する。					
使用テキスト	航空知識のABC・プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 授業内容の進め方・成績評価方法について説明する 「安全で快適な空の旅」について意見交換を行う				
2回	旅客機の開発史	飛行機の誕生から旅客機としての運航までを学ぶ 世界で繰り広げられた旅客機の開発競争について学ぶ 大型化・高速化から、効率や環境性能が重視される旅客機について学ぶ				
3回	旅客機の区分	機体の大きさによる区分について学ぶ 旅客機の性能・能力による区分について学ぶ エンジンの種類による区分について学ぶ				
4回	航空機運航	いろいろな種類の航空機について学ぶ 飛行方式・飛行条件について学ぶ 安全に飛ばすための計器や操縦システムについて学ぶ				
5回	空港施設	空港の基本構造について学ぶ 滑走路の長さや向きの決め方について学ぶ 誘導路とエプロンの違いについて学ぶ				
6回	空港施設	滑走路面に書いてある数字やラインの意味について学ぶ 航空法・空港整備法による空港の種類・役割とターミナル施設について学ぶ たくさんある空港灯火の種類について学ぶ				
7回	航空局の業務	航空局の歴史・役割について学ぶ 航空機運航と、その役割について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
8回	通信・航法装置	旅客機が地上との連絡を行う装置類について学ぶ 旅客機が位置や方向を知るための機器について学ぶ 運航に不可欠な通信・航法装置について学ぶ				
9回	航空管制業務	航空交通管制の役割について学ぶ 航空交通管制の種類について学ぶ 管制空域と航空路について学ぶ				
10回	航空管制業務	航空保安無線施設の種類について学ぶ 有視界飛行方式(VFR)と計器飛行方式(IFR)について学ぶ フライトプランの作成と航空管制の流れについて学ぶ				
11回	航空管制業務	航空管制シミュレーション①離陸まで、について学ぶ 航空管制シミュレーション②上昇から巡航まで、について学ぶ 航空管制シミュレーション③下降から着陸まで、について学ぶ				
12回	運航管理	運航管理者の資格、業務概要と飛行計画書(フライトプラン)の目的・内容について学ぶ ATC・フライトプランとカンパニー・フライトプランの違いについて学ぶ フライトプラン作成に欠かせない航空情報について学ぶ				
13回	運航管理用語	オペレーション用語とその意味について学ぶ 運航管理用語と管制業務用語について学ぶ 小テスト(理解度テスト)				
14回	期末試験	航空無線基本用語とフォネティックコード(欧文通話表)について学ぶ 期末試験を実施				
15回	まとめ	期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ、補足				



対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	エアライン・ホテル・ブライダル・鉄道・夜間総合観光科口
科目名	韓国語			クラス	QANY
担当講師(フルネーム)	権京愛			実務経験	無
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。			授業形態	講義&演習
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。				
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」(朝日出版)				
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	文字と発音①	ハングル誕生の背景や韓国語の特徴を知ろう! 単母音を覚える。 発音と読み書き練習をする。			
2回	文字と発音②	半母音を覚える。 発音と読み書き練習をする。 簡単な挨拶表現を覚え、授業中に使えるように練習する			
3回	文字と発音③	初声(平音)と発音の規則(有声音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をし、単語の意味を覚える。			
4回	文字と発音④	二重母音と発音の規則(連音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。			
5回	文字と発音⑤	初声(激音)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。			
6回	文字と発音⑥	初声(濃音)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。			
7回	終声(パッチム)	パッチムの仕組みを理解し、覚える。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。			
8回	かなのハングル表記	発音の規則(濃音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 ハングルで自分の名前を書く練習をする。 「곰 세마리」の歌と歌詞を覚える。			
9回	教室用語	パッチムを復習し、関連単語を覚える。 授業用語のフレーズを覚える。 クラスメートと会話練習をする。			
10回	体言文①	助詞「～은/는」 「～입니다/～입니까?」 クラスメートと会話練習をする。			
11回	体言文②	「～(이)라고 합니다」 自己紹介の練習をする。 復習問題を解く			
12回	体言文③	「激音化」と助詞「～이/가」 「～예요/～이에요?」 クラスメートと会話練習をする。			
13回	体言文④(否定文)	「～가/이 아니예요」 復習問題を解く 期末テスト対策			
14回	期末テスト	復習 期末テスト			
15回	まとめ	期末テストのフィードバック 文化紹介			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光マーケティング			クラス	Z	
担当講師(フルネーム)	牟田口 真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	旅行業界の成り立ちから現在のトレンドを知り、どのように集客がされているか理解する。			授業形態	講義	
到達目標	マーケティングの基礎的な知識を理解し、目指す業界での活用をできるようになる。					
使用テキスト	観光学基礎～観光に関する14章					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	第12章 観光のマーケティング	マーケティングの基礎知識 観光への応用				
2回	第1章 観光を学ぶ意義と観光の様々な効果	観光が人間や社会に与える影響について				
3回	第2章 観光に関わる言葉	旅とホスピタリティー 観光の定義				
4回	第3章 観光の仕組み	観光を構成する要素				
5回	第4章 観光資源と観光対象	観光資源と観光対象				
6回	第5章 観光産業の構成と特徴	観光産業の構成と特徴 ターゲットミックス 最近の観光産業の取り組み				
7回	第6章 様々な観光ビジネス～旅行業	旅行業の歴史 旅行に関わる用語 最近の旅行業における取組				
8回	第7章 様々な観光ビジネス～宿泊産業	ホテル業界の歴史 ホテルに関わる用語 最近のホテル業界における取組				
9回	第8章 様々な観光ビジネス～交通運輸業	鉄道業界の歴史 航空業界の歴史				
10回	第9章 様々な観光ビジネス～テーマパーク他	テーマパークビジネスの特性				
11回	第10章 観光と情報	効果的な観光情報の発信・提供方法 最近の観光情報発信・提供の取り組み				
12回	第11章 観光政策と観光行政	最近の観光行政の取り組み				
13回	第13章 旅の歴史とこれからの旅行	日本と世界の旅の歴史 最近の旅行のスタイル				
14回	第14章 観光と国際経済・社会・インバウンドと異文化理解	インバウンドの動向 外国人客への求められる対応				
15回	期末テスト	まとめ				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科・夜間総合観光科
科目名	サービス接客検定			クラス	MZ
担当講師(フルネーム)	金森和彦			実務経験	有
授業概要(内容)	サービス検定を学び、社会人になるための準備をする			授業形態	講義
到達目標	サービス検定2級合格にむけて学ぶ				
使用テキスト	サービス検定1-2級実問題集				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数 2
期末試験	2 期末試験なし				
	テーマ		授業内容		
1回	サービス接客検定について		・サービス接客検定の必要性 ・顧客心理、応対の仕方、言葉遣い、立ち居振る舞いを学ぶ		
2回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(ケース問題)		
3回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(ケース問題)		
4回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(掲示問題)		
5回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(掲示問題)		
6回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(選択肢問題)		
7回	過去問題解答		模擬試験		
8回	過去問題解答		前回の模擬試験の結果により、苦手問題を演習		
9回	検定の答え合わせ		解答速報で自己採点をする		
10回	準1級のテストについて		試験内容の案内		
11回	観光業と接客		ケース問題を使って学ぶ ★鉄道・旅行会社・ホテルの感動のおもてなしとは		
12回	観光業と接客		敬語問題を使って学ぶ ・お客様、上司に対する敬語、ロープレ ・電話応対、ロープレ		
13回	観光業と接客		社会人のマナー講座 ・指示の受け方、報告の仕方、ロープレ		
14回	観光業と接客		好感のもたれる新入社員の自己紹介、座学→ロープレ		
15回	期末試験対策		全体復習と期末対策		

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス/夜間総合観光	
科目名	コンピュータ			クラス	CZ	
担当講師(フルネーム)	財津克宜			実務経験	有(IT業界勤務歴)	
授業概要(内容)	いろいろなIT用語を正しく理解する IT活用の実践を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	Webコンテンツ制作についての知識を習得し簡単なWebページが作れるようになる					
使用テキスト	オンラインマニュアル					
成績評価方法	・提出物・課題70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	ITリテラシー/ 画像編集	IT用語 人工知能(AI), 機械学習 いろいろな画像編集ツールを使ってみる ※各学生の進捗に合わせてタイピング, MicrosoftOffice, Googleツール演習を取り入れる				
2回	ITリテラシー/ 画像編集	IT用語 ディープラーニング いろいろな画像編集ツールを使ってみる ※各学生の進捗に合わせてタイピング, MicrosoftOffice, Googleツール演習を取り入れる				
3回	ITリテラシー/ 画像編集	IT用語 シンギュラリティ いろいろな画像編集ツールを使ってみる ※各学生の進捗に合わせてタイピング, MicrosoftOffice, Googleツール演習を取り入れる				
4回	ITリテラシー/ Webコンテンツ制作	IT用語 ブロックチェーン Webコンテンツ制作 Web公開までの流れを知る ※各学生の進捗に合わせてタイピング, MicrosoftOffice, Googleツール演習を取り入れる				
5回	ITリテラシー/ Webコンテンツ制作	IT用語 DX Webコンテンツ制作 Webコンテンツ制作のための環境を構築する ※各学生の進捗に合わせてタイピング, MicrosoftOffice, Googleツール演習を取り入れる				
6回	ITリテラシー/ Webコンテンツ制作	IT用語 RPA Webコンテンツ制作 基本となるHTML言語にチャレンジしてみよう ※各学生の進捗に合わせてタイピング, MicrosoftOffice, Googleツール演習を取り入れる				
7回	ITリテラシー/ Webコンテンツ制作	IT用語 STEM教育 Webコンテンツ制作 基本となるHTML言語にチャレンジしてみよう ※各学生の進捗に合わせてタイピング, MicrosoftOffice, Googleツール演習を取り入れる				
8回	ITリテラシー/ Webコンテンツ制作	IT用語 VR, AR, MR Webコンテンツ制作 基本となるHTML言語にチャレンジしてみよう ※各学生の進捗に合わせてタイピング, MicrosoftOffice, Googleツール演習を取り入れる				
9回	ITリテラシー/ 動的Webコンテンツ制作	IT用語 ICT, IoT Webコンテンツ制作 Webにスタイルや動きをつけるCSS/Javascriptにチャレンジしてみよう ※各学生の進捗に合わせてタイピング, MicrosoftOffice, Googleツール演習を取り入れる				
10回	ITリテラシー/ 動的Webコンテンツ制作	IT用語 Amazon Go Webコンテンツ制作 Webにスタイルや動きをつけるCSS/Javascriptにチャレンジしてみよう ※各学生の進捗に合わせてタイピング, MicrosoftOffice, Googleツール演習を取り入れる				
11回	ITリテラシー/ 動的Webコンテンツ制作	IT用語 デジタルディバイド Webコンテンツ制作 Webにスタイルや動きをつけるCSS/Javascriptにチャレンジしてみよう ※各学生の進捗に合わせてタイピング, MicrosoftOffice, Googleツール演習を取り入れる				
12回	ITリテラシー/ 動的Webコンテンツ制作	IT用語 プロジェクションマッピング Webコンテンツ制作 Webにスタイルや動きをつけるCSS/Javascriptにチャレンジしてみよう ※各学生の進捗に合わせてタイピング, MicrosoftOffice, Googleツール演習を取り入れる				
13回	ITリテラシー/ ドローン操作	IT用語 B2B, B2C, C2B, C2C ドローンをスマホアプリで飛ばしてみる ※各学生の進捗に合わせてタイピング, MicrosoftOffice, Googleツール演習を取り入れる				
14回	ITリテラシー/ ドローン操作	IT用語 オープンイノベーション ドローンをプログラムで飛ばしてみる ※各学生の進捗に合わせてタイピング, MicrosoftOffice, Googleツール演習を取り入れる				
15回	ドローン操作 /期末試験	ドローンでの撮影にチャレンジしてみよう ※期末試験				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス・夜間総合観光科	
科目名	英会話			クラス	GZ	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown			実務経験	無	
授業概要(内容)	We will practice using everyday English phrases to make conversations. We will ask questions and respond to maintain a long conversation.			授業形態	講義	
到達目標	Students will be able to make small talk in English with native speakers.					
使用テキスト	<i>The English Course, Discussion Book 1</i> (First Edition) by Gary Ireland & Max Wollerton					
成績評価方法	・小テスト70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	Orientation Syllabus Explanation	Warm-Up <b>Talking About Vacations</b>				
2回	Unit 1	<b>Talking About Vacations</b> Asking For and Giving Opinions				
3回	Unit 1	<b>Talking About Vacations</b> Asking For And Giving Opinions				
4回	Unit 1 - Quiz Unit 2	<b>Talking About Vacations - Quiz</b> <b>Movies</b> Understanding criteria				
5回	Unit 2	<b>Movies</b> Understanding criteria				
6回	Unit 2 Unit 2 - Quiz	<b>Movies</b> Understanding criteria Quiz				
7回	Unit 3	<b>Dating</b> Agreeing and Disagreeing				
8回	Unit 3	<b>Dating</b> Agreeing and Disagreeing				
9回	Unit 3 - Quiz Unit 4	<b>Dating - Quiz</b> <b>Part-time Jobs</b> Giving Reasons				
10回	Unit 4	<b>Part-time Jobs</b> Giving Reasons				
11回	Unit 4 Unit 4 - Quiz	<b>Part-time Jobs</b> Giving Reasons Quiz				
12回	Unit 5	<b>Learning English</b> Supporting Your Reasons				
13回	Unit 5	<b>Learning English</b> Supporting Your Reasons				
14回	Unit 5 - Quiz Unit 6	<b>Learning English - Quiz</b> <b>Hopes and Dreams</b> Asking Questions				
15回	Unit 6 Unit 6 - Quiz	<b>Hopes and Dreams</b> Asking Questions Quiz				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	筆記試験対策			クラス	Z	
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験の筆記分野(SPI言語、一般常識、時事問題など)対策			授業形態	講義	
到達目標	WEBテスト、適性検査、時事問題などにも対応できるように実力をつける					
使用テキスト	朝日キーワード就職2025最新時事問題&一般常識					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	必ず復習する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。解けなかった問題は必ず見直す 残りの時間は、時事問題用語解説、新聞コラムに取り組む				
2回	情報を分析する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題の傾向がわかります				
3回	最新のニュース	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験当日は特に最新のニュースチェックを忘れずに				
4回	漢検二級レベル	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 就職試験にかかわらず、漢字は私たちの生活に欠かせません。漢検二級レベルを目指します				
5回	はじめにてあわてない	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 見慣れない問題がでることがあります。落ち着いて解きます				
6回	範囲を絞る	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 範囲を絞って、その分野をマスターする。達成感の積み重ねが大事				
7回	時間配分を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 解答時間は足りていますか？紙の試験問題の場合、解く前に試験問題の量のチェックも忘れずに				
8回	ニュースを読む	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」を考える				
9回	自分の意見を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」から自分の意見を考える				
10回	意見交換をする	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースを読んで相手の考えを聞く				
11回	SDGsを知る①	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ・時事問題:SDGsを知る①SDGsとは？				
12回	SDGsを知る②	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ・時事問題:SDGsを知る②17の目標				
13回	SDGsを知る③	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ・時事問題:SDGsを知る③2024年度の達成度				
14回	SDGsレポート作成	・「私達が実行するSDGs」レポート①				
15回	前期期末試験	・前期期末試験(30分) ・「私達が実行するSDGs」レポート②				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	就職対策			クラス	Z	
担当講師(フルネーム)	金森和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職活動に向けて意識を高め、具体的な行動と準備ができるようになる。 この授業はLHRと平行して行う			授業形態	講義	
到達目標	就職活動に必要な必要事項の完成を目指す					
使用テキスト	就職ノート 専門学校生のための就職内定基本テキスト					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(授業態度 就職活動の姿勢)80% レポート・演習20%				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	就職活動の心構え	就職活動とは・学生と社会人の違い・なぜ働くのか？ 採用の基準(求められる人材・一緒に働きたい人とは)				
2回	企業研究	働きたい会社を見つけて志望動機につなげる				
3回	企業研究	働きたい会社を見つけて志望動機につなげる				
4回	企業研究	働きたい会社を見つけて志望動機につなげる				
5回	企業研究	働きたい会社を見つけて志望動機につなげる				
6回	質問事例	接客・サービス・おもてなしについての質問 感動のサービス・お客様に満足していただくためには				
7回	質問事例	接客・サービス・おもてなしについての質問 感動のサービス・お客様に満足していただくためには				
8回	質問事例	接客・サービス・おもてなしについての質問 感動のサービス・お客様に満足していただくためには				
9回	質問事例	接客・サービス・おもてなしについての質問 感動のサービス・お客様に満足していただくためには				
10回	質問事例	職業観についての質問				
11回	質問事例	職業観についての質問				
12回	質問事例	職業観についての質問				
13回	業界研究	観光業界の現状について解説				
14回	業界研究	観光業界の現状について解説				
15回	まとめ	就職状況について確認				